

## ひきこもり支援策は

**答** 民生委員・児童委員と連携し、支援していく



坂井 久子 議員

**問** 当市のひきこもり者が、少なくとも65人以上いるが、その支援策は。 **福祉課長** 庁内の関係部署と連携し総合的、包括的に対応する。また、社会福祉協議会が開設して

いる「ふらっとスペース」を有効活用する。

**問** 支援体制と相談件数は。

**福祉課長** 自立支援相談員2人、就労支援員1人を配置している。窓口での相談件数は、3年間で1件。当事者の悩みの把握が困難。相談事業の市民周知を図る。

**問** 共生社会の仕組みづくりのために、コミュニティソーシャルワーカーの養成を。 **市長** 地域に根差して活動されている民生委員・児童委員と連携し、当市



社会福祉協議会開設の「ふらっとスペース」パンフレット

の実態に応じた支援を考える。

### 「自転車保険加入の努力義務化」への対応は

**問** 昨年「福岡県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が施行されたが、周知は。

**防災安全課長** 県から、広報周知の依頼はない。**問** 自転車事故の賠償額が高額となる事例が増えている。市民への啓発は。 **防災安全課長** 保険加入は任意であるが、広報で周知を図りたい。

## 筑後市職員の 人材育成の取り組みは



永松 孝信 議員

**問** 筑後市では、人材育成基本方針を定めているが、どのような取り組みがなされているか。

**答** 目指すべき人材像を定め、研修等を実施

**市長公室長** 目指すべき人材像「筑後市を愛し市民とともに前進する職員」を踏まえ、能力開発では、職場内・職場外研修。人事制度では、採用から10年で3部署程度を経験させる若手職員のジョブローテーション、採用面では、人物重視の選抜。職場環境の面では、ワークライ

**問** 職員アンケートによると、6割の職員が連携不足などの組織課題を認識しているが、それに対する取り組みは。

**市長公室長** 係長クラス

### めざすべき人材像

筑後市を愛し

前進する職員



市民とともに

筑後市職員を目指すべき人材像

**問** 職場間の連携には管理職の役割が重要では。 **市長** 限られた職員数の中で最大の効果を発揮させるためには、管理職のリーダーシップが重要である。当然私とその先頭に立って進めていく。